

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ソラストひがしおおい保育園
所在地	東京都品川区東大井一丁目3番6号

1 活動のテーマ

絵本

＜テーマの設定理由＞

園内において、子どもたちが自分で読みたい本をいつでも自由に手に取って読める環境を整え、さらに保育園で楽しかった絵本を家庭でも共有できるよう「絵本の貸し出し」をスタートした当園の強みや環境を活かし、「絵本」を起点とした探究活動をテーマに設定した。

2 活動スケジュール

2025年5月～絵本購入、環境設定
2025年9月絵本貸し出しスタート
2025年10月子ども用エプロン納品

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

環境設定として、子どもたちが自分で読みたい本をいつでも自由に手に取れるよう、新たに「絵本棚」を導入し、お仕事やお手伝い、食事等の「絵本」を充実させて配置する。さらに、絵本から得た大人への憧れをリアルな体験へと深めるための素材として、職員と全く同じデザインの「子ども用特製エプロン・三角巾」、および自分で大切に自己管理・片付けができる専用のハンガーラックを保育室内に用意する。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

自分で選んだ絵本を園や家庭（貸し出し）で繰り返し読み進める中で、大人への憧れや模倣への関心を高めたタイミングでエプロンを導入する。最初はおままと等で保育者になりきる遊びから始め、徐々に実際の給食時の配膳やお当番活動、毎月の食育活動（クッキング等）といったリアルな役割へと発展させ、子どもたちが特別な気分・自信を味わいながら主体的に関わる変化を探究する。探究活動の様子は動画および写真で記録する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

（HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。）



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を実施した日の午睡の時間に、午睡当番以外の保育士が集まり、エプロン着用時における子どもの自発的な言葉かけや表情、自信（自己肯定感）の高まりについて振り返りを行う。